

---

## 第1回 ツリーハウスビルダー養成講座

ツリーハウスをつくるためのはじめの1歩（基礎編）

---

NPO 法人ジャパン・ツリーハウス・ネットワーク（日本ツリーハウス協会）は2009年7月よりツリーハウス制作のための技術とその利用に関する基礎知識の習得を目的としたツリーハウス・ビルダーの人材育成プログラムを開始します。

■ 目的：ツリーハウス制作のための技術とその利用に関する基礎知識の普及、啓蒙活動

■ テーマ：

・ツリーハウスを通じて自然との関係性を体感する

ツリーハウスとは木の上にあるシェルター。木と寄り添うことで自然を身近に感じ環境との共生意識を高めることができます。ビルダーとして、地球環境と人間の生活の基礎的な知識を学ぶことで、ツリーハウスをより有効に利用できると考えます。

・ツリーハウス制作を通じて自由と責任の心を会得する

地上から樹上に登ることで、非日常の視野を獲得することができます。ただし、その非日常の危険性を知り、各自の責任において自由を獲得することが前提です。お互いに依存しあっている世界から抜けるための責任を制作を通じて体感します。

■ 主催：JAPAN TREEHOUSE NETWORK（JTN：日本ツリーハウス協会）

■ 期間：2008年7月～12月（1泊2日）計6回

**7/18-19, 8/15-16, 9/5-6, 10/10-12, 11/14-15, 12/5-6**

■ 会場：グリーンバレー所有地、茅ヶ崎市民の森（第1回のみ）

■ 住所：神奈川県中郡大磯町

■ 対象：ツリーハウスを制作する意欲のある方

■ 修了者：THC 認定ビルダー修了証、GL 利用認定書

■ 基本的なタイムテーブル：

[土曜日]

12:00 大磯駅集合（または現地集合）  
13:00 ワーク1  
15:00 休憩・おやつ  
15:30 ワーク2  
18:00 風呂・夕食など  
20:00 フリーディスカッション

[日曜日]

08:00 朝食  
09:00 ワーク3  
12:00 昼食  
13:00 ワーク4  
15:00 ふりかえり  
16:00 解散（大磯駅まで車で移動）

## ■ カリキュラム：

### 1) ツリーハウス概論（小林崇、ツリーハウスクリエーター）

ツリーハウスとは、ツリーハウス・カルチャー、歴史  
日本におけるツリーハウスの法的な問題と社会的な影響力  
THC のツリーハウス、世界のツリーハウス

### 2) 樹木をめぐる生態系（野口理佐子、人と自然の研究所 代表）

地球の歴史と樹木、生態系の中の樹木の役割、樹木のライフサイクルと取り巻く生命  
森の時間、森の構造と生きものたち、ハビタットとビオトープの視点  
日本の森林の現状、里山と日本人の暮らし、これからの人と森の関わり方

### 3) ワーク・クライミング（榊原信行、ツリークライマー）

クライミングの基本的な心構え、木に対するインパクト、安全管理（危険な行為）  
セットアップ、スローライン、ロープワーク、クライミングアップ&ダウン  
ポディーコントロール、ファーストエイド、レスキュー、ロープカットスタイル

### 4) 樹木学入門（猪野年郎、樹木医・NPO 法人藪会 副理事長）

植物の区分（分類学、習性による区分）樹木の区分（広葉樹と針葉樹、落葉樹と常緑樹）  
樹木の名称と役割、樹齢、樹高、幹の大きさ、クローネ  
樹木の活動と健康、ホストツリー診断

### 5) アーボリカルチャー（深沢尚樹、アーボリスト・樹木医）

アーボリカルチャーと樹木医学、都市と農村、人間のおせっかいな歩み寄り  
微気候、風の通り道、単木と集団、夏と日と水、木のカタチ、樹木の解剖学、危険な兆候  
高所作業、リギング、高木選定とアプローチ

### 6) ツリーハウス・デザイン（小林崇、ツリーハウスクリエーター）

自然を読み取る力、樹木・周辺環境・文化との融合  
誰が、誰のために、どのようにツリーハウスを利用するのか  
インスピレーションを具現化する、スケッチ、プレゼンテーション

### 7) 樹上建築学（石山修武、建築家・早稲田大学建築学部 教授）

ツリーハウス・樹上生活の歴史、木の寄り添う生活者、陰の建築史  
民俗学、アミニズム、自然とのインタラクション、  
障害者とツリーハウス、農業用施設として、持続可能なコミュニティー

### 8) ウッドワーキング（柳田久光、大工・柳田工務店 代表）

大工の心得、作業の前に、道具の種類と選び方  
木材の適材適所、寸法、墨付け、継手・仕口  
電動工具の使用法、危険回避のための管理とメンテナンス

### 9) ツリーハウス・ビルディング（小林崇、ツリーハウスクリエーター）

GL の施行位置の決定、樹幹・枝の選定、作業空間の確保、安全確認  
樹木への穿孔と開口部の処理、GL 施行、アレスター・ブラケットの設置  
ビームの取り付け、根太・床板の施行、樹幹や枝との折衝部分の加工、養生

### 10) パーマカルチャー・デザイン

自然の力を最大限に活かす暮らし方、資源の発掘、つながりのデザイン  
エネルギー循環、多様性と小規模集約、日本の伝統的な生活様式  
コミュニティーの形成、食べられる森づくり、農地と山林の活用

■ 本件についてのお問い合わせ：

特定非営利活動法人ジャパン・ツリーハウス・ネットワーク

担当：竹内 ゆういち

住所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-20-1

電話：03-5410-1882 / FAX：03-6663-8343

URL：<http://www.treehouse.jp> / Mail：[jtn@treehouse.jp](mailto:jtn@treehouse.jp)